第５号

# 新川水土里（みどり）たより

平成２２年６月１５日
新川農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会
〒937-0863　魚津市新宿10-7
電話(0765)22-9137【指導課】

## 新たな交付金制度スタート！

### 農山漁村地域整備交付金

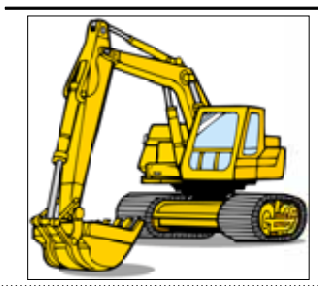
は、国営事業に関連する事業や防災事業の一部（地すべり対策事業、公害防除特別土地改良事業）を除くすべての事業となっており、新川農林振興センター管内における継続地区においても、そのほとんどが交付金の対象となっています。

**「ニーズに即して作成された計画とは？」**

交付金の交付を受けるには、一定の事項を記載した農山漁村地域整備整備計画を作成することとしており、「計画の目標」、「評価の指標」、「交付対象事業」等を明記した３～５年の計画を作成し、農林水産大臣に提出することが義務づけられております。

農業農村整備分野においては、整備計画を４農林振興センター毎に作成することから、今後は各農林振興センター管内の実情に応じた予算管理を行っていくこととしております

【指導課　計画班】



基幹農道　新川中部二期地区の小川橋梁施工状況

**「新たな交付金とは？」**

今年度より農林水産省所管の補助事業のほとんどが、農山漁村地域整備交付金に変更となりました。

この交付金は、農山漁村地域において、農業農村整備、森林整備、水産、海岸の各分野でそれぞれが実施してきた既存の事業の見直しを行い、農山漁村地域のニーズに即して作成された計画に基づき、農林水産省の各公共事業を自由に選択できると共に、自治体の創意工夫によって、より事業効果を高める事業も実施が可能な、使い勝手のよい新たな交付金として平成22年度に創設されました。

**「対象事業は？」**

農業農村整備分野における交付金の対象事業

## 用水の歴史と水源について学ぶ」水土里探訪ウオーク・イン 滑川」

５月22日（土）に、水土里探訪ウオーク・イン「滑川」が、水土里探訪ウオーク実行委員会（富山県、水土里ネット富山、東部土地改良協議会、早月川沿岸土地改良区、室山野用水土地改良区）の主催により、開催されました。

開会式では、早月川沿岸土地改良区　松井理事長が挨拶し、来賓の上田滑川市長から祝辞をいただきました。

県内各地から約一八〇名が参加し、天候にも恵まれ清々しい風とともに、新緑のまぶしい７．５㎞のコースを歩きました。

コースは、滑川市みのわテニス村をスタートし、蓑輪頭首工→魚津市鉢地区の棚田→大日公園・千鳥採土地跡→室山野用水・東福寺野用水分水工→旧川・隧道施設→北陸電力㈱蓑輪発電所を周るもので、各ポイントでは、県や地元土地改良区などの職員が説明を行い、参加者に農業用水の役割や地域の歴史について、理解を深めてもらいました。

ゴール後は、滑川産リンゴジュース、ホタルイカ沖漬、みのわ温泉無料券が当たる抽選会がありました。

アンケートでは、「水の大切さがわかった」「道三の偉業に感動した」などの感想をいただきました。

ボランティアスタッフとして、ご協力いただきました土地改良区、市町並びに関係スタッフの皆様には大変お世話になり、感謝いたします。

【指導課　指導班】

出発進行！

途中のポイントで職員より説明を受ける参加者

## 土地改良区紹介　魚津市土地改良区

魚津市土地改良区は、昭和45年に７土地改良区が合併し、その後、平成14年２月に、片貝川沿岸用水土地改良区と合併して、受益面積一九一九㌶、組合員二六三五名となり、現在に至っています。なお、早月川沿岸土地改良区と布施川土地改良区との間に受益が重複する区域が約四四五㌶あります。

市内の主な農業用用水源は、７河川、17ため池であり、最大の用水源は、片貝川からの取水である黒谷頭首工及び片貝谷第１発電所の水量を併せた、最大14．409㎥/s（農業用最大13．521㎥/s）となります。

上流側の黒谷頭首工、幹線用水路（約四㎞）については、県の管理であるものの発電の関係で北陸電力㈱が維持管理しており、貝田円筒分水槽から下流が当土地改良区施設となっています。

## 今年は正念場です」　所長挨拶

国政が大きく変わったことにより、農業農村整備に関する予算が著しく減少し、生産基盤の整備が遅れるばかりでなく、農村の生活環境整備も大きく遅れることとなっております。大変ご迷惑をおかけしておりまして、申し訳ございません。

（皆さんは農村の大切さをよくご存じですが、）東京大学名誉教授の宇沢弘文先生も、岩波新書「社会的共通資本」の中で、次のように言っておられます。『農の営みが人類の歴史でおそらくもっとも重要な契機をつくってきた。将来もまた基幹的な地位を占めつづけることは間違いない。（中略）どの社会をとってみても、その人口のある一定の割合が農村で生活しているということが、社会的安定を維持するためにも不可欠なものとなっている。』

これまで、土地改良区は、自らの仕事の必要性を発信することに無頓着でした。しかし、現在のような、経済合理主義のみによる政策が続くと、「国家百年の計」を見誤ってしまうことが懸念されます。土地改良区は、「これまでの農業・農村を健全に保全する仕事は大変重要であり、これからも続ける必要がある」と社会に向かって大きく発信しなければなりません。

今年度は、土地改良区の役員や職員のみなさんと共に、これまで以上に農業・農村の保全の大切さを農家以外の方々に語ることをお約束して、ご挨拶とします。

【永森　雅之】

## 東山円筒分水

用水経路について、片貝川右岸側は、サイホンで片貝川を渡り、県内初の円筒分水である、東山円筒分水槽（昭和30年）から、約三六〇年前に築造された、悲しい「人柱」伝説の高円堂用水、幹線水路等を通じ各用水に流れ、片貝川左岸側は、幹線用水路を通じて各農業用水に流れ、下流側の市街地にある鴨川、中川等のおいて、貴重な生活用水となっています。しかし夏場には水不足が生じるため、用排水調整委員による用水管理を実施しています。

当土地改良区の取組みとして、「農業用水見学会」や「土地改良区だより」、「うおづのいのちの水」などの冊子で、森林や土地改良施設及び土地改良区の役割をＰＲしています。

今後も引き続き、地域住民や子供達等に、土地改良施設の維持管理の大切さを理解して頂くよう取り組んでまいりたいと考えています。

【課長　藤森　三成】

## イベント情報

### 作品募集

◎第７回とやまの棚田写真展　〈作品募集中〉
■募集期間
・５月10日～11月15日
■応募・問合せ先
・（社）富山県農林水産公社　TEL 076-441-7397

### 開催告知

◎「とやま農業用水を育む集い2010in黒部川」（仮称）〈参加費無料〉
■開催日…10月19日(火)
■開催場所…黒部市宇奈月国際会館「セレネ」／黒部川流域（現地見学）

## 編集後記

サッカーワールドカップが始まりました。

今回の日本代表の目標は、ベスト４進出というとても高い目標をもって本大会に挑んでいます。私たち土地改良関係者も厳しい情勢の中で高い目標と志を持って、土地改良区、市町村、県の連携プレーで挑んでいかなければいけないと思います。

会場までは遠く応援には行けませんが、眠い目をこすりながらテレビの前でしっかり応援したいと思います。

【nakashi ma】